



一般社団法人

埼玉県障害者スポーツ協会だより

第20号



2011（平成23）年1月 一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会発行

〒330-0843 さいたま市大宮区吉敷町1-124 埼玉県大宮合同庁舎3階

TEL 048-650-0170 FAX 048-650-0171 E-Mail 2004@sainokuni-sasa.or.jp ホームページ <http://sainokuni-sasa.or.jp>

新年のごあいさつ

新しい時代の扉を開く ～自立自尊の埼玉を創る～

埼玉県知事

一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会 名誉会長 上田 清司



一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会関係者の皆様、新年明けましておめでとうございます。皆様には、健やかに平成23年の新春をお迎えのこととお喜びを申し上げます。

現在、日本は生産年齢人口の減少や新興国の台頭により、厳しい状況に置かれています。今こそ自立自尊の精神で考え、行動するときが来ています。

キーワードは「世界」と「人材」です。

県内企業が世界に進出する状況をつくり出すとともに、強い埼玉農業をつくるのが重要です。さらに、埼玉版グリーンニューディールを進めて成長と環境が調和した社会を目指します

人材は、日本が世界に誇る最高で最大の資源です。グローバル人材を育成するため海外留学支援などを積極的に行っていきます。

一方、「暮らしの安心・安全」を確保するために「雇用ニューディール」を進めます。さらに、共助の輪を広げて県民や地域の力で埼玉を大きく変えていきたいと思えます。

地域主権は日本を変える大きな力です。地方から思い切った政策をどんどん実行していきます。

これまで築いてきた土台の上に、世界に羽ばたく埼玉を目指します。協会関係者の皆様とは、スポーツを通じた障害者の社会参加を図るとともに、障害者スポーツの更なる振興に取り組んでいきたいと思えます。

一緒に新しい時代の扉を開き、明るい未来への第一歩を踏み出しましょう。

一般社団法人としてさらなる飛躍を目指して

一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会 会長 塩浦 綾子

新年明けましておめでとうございます。皆様にはお和やかに輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は埼玉県、正会員、賛助会員、特別会員を始め多くの皆様の格別なるご理解とご支援を賜り協会設立以来の念願でありました「一般社団法人」として法人化を図ることができました。また、事業としては「彩の国ふれあいピック春季大会・秋季大会・球技大会の開催」「全国障害者スポーツ大会“ゆめ半島千葉大会”への参加」。自主事業として「健康づくり教室」「出前スポーツ・レクリエーション教室」、「親子水泳教室」「学校訪問」「ボッチャ大会」「四面卓球バレー大会」浦和レッズ、大宮アルディージャとの共催事業の「サッカー大会」等精力的に取り組んでまいりました。

また、フットベースボール大会、知的バレーボール大会は正式に「彩の国ふれあいピック」として開催し、大盛況のうちに大会を実施いたしました。

私が団長として参加しました「ゆめ半島千葉大会」では、大会スローガンにあります“みんなが主役 花咲く笑顔”のように、参加した選手からは「代表は誇りであり大きな支えと希望になります」「他県のボランティア・選手との交流が良い思い出になりました」「教えてくれた方々、多くの仲間、家族に感謝し、これからも頑張ります」等の声をお伺いし「SPORTS FOR EVERYONE・“いつでも どこでも だれもが いつまでも”」のスポーツ協会の合言葉が、大会を通じスポーツを通じて共有することができたものと強く感じ、深い感銘を受けました。本年も誰にも親しまれ愛される協会を目指し、諸事業に全力で取り組んでまいります。

皆様の変わることをない温かいご支援、ご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。新年の挨拶といたします。





彩の国トップアスリートからの新春メッセージ

選手氏名 50 音順の掲載です。



SAITAMA

埼玉県のマスコット コバトン

埼玉県を代表するトップアスリートから新春メッセージをいただきました。
今シーズンもトップアスリートのメッセージを胸に頑張りましょう！！



浦和レッドダイヤモンドズ 宇賀神友弥 選手 (DF/ 背番号 35)

「皆さん、新年明けましておめでとうございます。浦和レッズの宇賀神友弥です。昨シーズン、浦和レッズに加入しまして、ものすごく濃密は1年間を過ごしました。分からないことだらけの1年目でしたが、多くの試合に出場できて、得たものも多かったです。リーグ戦の結果としては厳しいものになってしまいましたが、チーム全員で一丸となって戦ったことには誇りを持っています。ただ、僕自身も含めて、まだまだ力が足りなかったということだと思います。今年、私が信条としている『気持ちが伝わるプレー』とともに、結果にもこだわって、全力で頑張りしたいと思います。熱いプレーを通して皆さんに何かを伝えられたら良いなと思っています。是非、浦和レッズを応援して下さい！！お互い頑張りましょう！！」

埼玉スウィスイミングスクール 古賀淳也 選手

【昨年の実績】

- ・パンパシフィック大会 (アメリカ、アーヴァイン)
50m背泳ぎ優勝、100m背泳ぎ2位、400mメドレーリレー2位
- ・アジア大会 (中国、広州)
50m背泳ぎ優勝、100m背泳ぎ2位

【新年の抱負】

「7月の上海世界水泳において、50m、100m背泳ぎで優勝を目標に頑張りたいと思います。」

【スポーツをしている皆様へ】

「僕にとってスポーツをする事、つまり水泳をする事は生きる事です。日常において泳がない日はほぼありません。それほど日常に水泳という物が浸透し、無くてはならない物になっています。これから先、水泳を水泳道に、スポーツをスポーツ道にする事と、自分で得た物を皆さんに発信する事が僕の目標です。共にスポーツを愛し、頑張ってください！！」



埼玉ブロンコス キャプテン #10 波多野和也 選手



「明けましておめでとうございます。昨年は応援ありがとうございました。新しい年を迎え気持ちも新たに勝ち進んでいきたいと思っています。そして今年新しい事にチャレンジをしていきたいと思っています。皆さんもぜひ新しい事にチャレンジしてってください。今年も応援宜しくお願いいたします。」

【bjリーグ2010-2011シーズン 埼玉ブロンコスホームゲーム】

日程	開場時間	試合時間	対戦相手	会場	
2月	5日 土	16:15	18:00	富山グラウジーズ	所沢市民体育館
	6日 日	12:15	14:00	富山グラウジーズ	所沢市民体育館
	19日 土	13:15	15:00	宮崎シャイニングサンズ	秩父市文化体育センター
	20日 日	13:15	15:00	宮崎シャイニングサンズ	春日部市総合体育館
3月	5日 土	16:15	18:00	仙台89ERS	春日部市総合体育館
	6日 日	12:15	14:00	仙台89ERS	春日部市総合体育館
	12日 土	16:15	18:00	富山グラウジーズ	所沢市民体育館
	13日 日	12:15	14:00	富山グラウジーズ	所沢市民体育館
4月	2日 土	16:15	18:00	京都ハンナリーズ	さいたま市記念総合体育館
	3日 日	12:15	14:00	京都ハンナリーズ	さいたま市記念総合体育館
	9日 土	16:15	18:00	新潟アルビレックスBB	所沢市民体育館
	10日 日	12:15	14:00	新潟アルビレックスBB	所沢市民体育館

※開場時間、試合時間等は変更になる場合もございます。変更の場合オフィシャルホームページにてお知らせ致します。
<http://www.saitamabroncos.com>

浦和レッズレディース 藤田のぞみ 選手 (MF/ 背番号 13)

「新年あけましておめでとうございます。浦和レッズレディースの藤田のぞみです。2010シーズンからチームに加入し、レッズレディースのサッカーやファン・サポーターの皆さんからの応援、そして仕事など、新しいことだらけの一年でした。そんなこの一年間、サッカーも含め多くのことを新たに経験でき、色々な考え方を持つ大切さを学べたと思っています。チームとして2連覇を目標に、一試合一試合をみんなで闘ってきましたが、残念ながらその目標に達成することが出来ませんでした。私個人としても、半分くらいの試合しか絡めていませんし、プレーにも波があったと感じていて、悔しさも残っています。来シーズンはコンスタントに力を出せるようにして、観に来てくれた人が来て良かったと思ってもらえるプレーを目指し、王座奪還に貢献したいと思います。」

スポーツを通して、仲間を作ったり、一緒に喜んだり、笑ったりすることは、自分だけでなく周りの人も元気にすることが出来ると思います。また、機会があれば、一緒に楽しめたら嬉しいです。お互いに頑張りましょう！」



埼玉西武ライオンズ 帆足和幸 投手



【今年の抱負】

「県民の皆さまの応援をパワーに、パシフィックリーグ優勝・日本一をめざして、頑張ります。今年も、埼玉西武ライオンズに熱い声援をお願いします。」

【スポーツに取り組む障がい者への激励】

「スポーツを心から楽しみながら、たくさんの方々と共に喜びと感動の輪を広げ、笑顔一杯の良い汗をかきましょう。今年も、みなさんの活躍を期待しています。」

戸田中央総合病院女子ソフトボール部 山崎泰稔 監督

「昨年もソフトボール教室にお招きいただき、本当にありがとうございました。私たち戸田中央総合病院女子ソフトボール部は、毎年シーズンオフの時期には様々な場所や施設に訪問させていただき、ソフトボール教室やボランティア活動などを行っております。その中でも障害者ソフトボール教室は毎年楽しみにさせていただいております。一生懸命ボールを追いかけたりバットを振ったりしている姿をみていましたら、一人一人が楽しく元気に夢中になってソフトボールをされている事が伝わってきました。私達も参加させて頂く度に、本当にたくさんの事を勉強させていただいております。一年に一度しか一緒にソフトボールをする機会がないのですが、また皆様と一緒にソフトボールを出来る事を楽しみにしています。」

2010年度の成績は、4勝18敗で2部降格という不甲斐無い成績に終わってしまいました。2011年度は1部昇格を目標にしており、悔しい気持ちを忘れずチーム一丸となって戦っていきます。皆様に良い報告が出来ますように頑張っていきたいと思っておりますので、今後とも宜しくお願い致します。」



大宮アルディージャ 渡部大輔 選手 (FW/ 背番号 30)

「昨年は第3回ORANGE! HAPPY!! SMILE CUP!!!にプレゼンターとして参加させて頂きました大宮アルディージャの渡部大輔です。私はプロサッカー選手になって3年が経ちましたが、『スマイルカップでプレーをしていたみなさんの『一生懸命ボールを追いかける姿』や『心の底からサッカーを楽しむ姿勢』を目の当たりにして、もっと自分自身が原点に戻って『サッカーを楽しむ』ということを中心にしなければいけないと、改めて考えさせられました。今年にはみなさんに負けないように、サッカーを心から楽しみ、開幕からレギュラーで活躍出来るように頑張っていきますので、声援よろしくお願いたします。」



渡部大輔選手・藤本主税選手と記念撮影

❀ 新春メッセージ ❀

❀ 埼玉県障害者スポーツ指導者協議会会長 清岡 智

「新年おめでとうございます。埼玉県障害者スポーツ指導者協議会は本年も県内の障害者スポーツの発展のため精進していきたいと思っております。障害者スポーツ協会主催事業等への指導員の派遣はもとより、広報誌ADAPTの発行、ホームページ（<http://www.e-adapt.org/>）の公開、研修会の開催など地道な活動を続けていきたいと思っております。ここ数年の課題として、東西に広がっている本県を少しずつカバーしていきたいと考え、地域推進委員会を立ち上げていますが、昨年は入間地区や朝霞地区で新しく事業を展開し、地域での活動基盤の構築に努めました。地域推進活動を含め、多くの会員がやりがいを持って活動できる場を整備していくことが必須ですので、埼玉県障害者スポーツ協会と交流センターとの連携を今後も深めていきたいと考えております。そして、より高いレベルの指導を展開できるよう、資質の向上に努めていきたいと考えております。どうぞご支援いただきますようお願い申し上げます。」

❀ 埼玉県障害者アーチェリー協会会長 福田 孝一

「私達の協会は現在会員40数名の方が活動しており、その中で10名の方が健常者ですが、お互いを刺激しあいながらアーチェリーを楽しんでいます。アーチェリーは唯一ハンデのつかないスポーツです。県の大会には多くの協会員が参加していますが、その中で表彰されるのは大変名誉です。障害者だけの大会では、ジャパンパラリンピックやフェニックス大会等で上位の成績を取ってパラリンピックに出場した選手もおります。今回『世界にはばたけ！彩の国育成強化事業』にも参加させていただき、次世代の選手育成に努めております。今年の目標は、障害者交流センターで行われるジャパンパラリンピックアーチェリー大会に一人でも多くの選手が参加できるよう、選手の強化に努めたいと考えています。」

❀ 埼玉県障害者卓球協会 STT部部長 小林 孫一

「今年度の練習会も無事に終了しつつあります。これも偏に会員皆様のご支援の賜物と深く感謝いたしております。来年度に関しましては、楽しいSTTをモットーに各地区で行われています練習会を時には交流練習、交流試合に発展させ相互の輪を広め、会員数及び支部数の増加につながればと期待しております。また、審判員の拡充に向けお一人でも多くの育成ができますように声掛けにご協力をお願い致します。会員の皆様、健康に留意しSTTを楽しみましょう！！」

❀ フットベースボール競技選手 高橋 好之

「私は、高校1年生の時に体育の授業でフットベースをしていたら担当の先生に誘われて、本格的に練習に参加することになりました。自分は今までサッカーを小学4年生から9年間してきました。その効果がフットベースに繋がり、今では本当にフットベースをしてきて良かったと思っています。初めて代表に選ばれた時は2004年の埼玉大会で、全国大会だと思っていませんでした。今では、初めてやった時の自分とは大違いで、関東大会に7年連続7回出場することができ、今まで自分を支えて頂いた皆様には本当に心から感謝の気持ちで一杯です。一度は自分の限界を感じやめたいと考えた時もありましたが、周りの方々の支えによりここまで来れたと思っています。今、自分がしたいことは埼玉県チームとして東京都に勝ち関東代表で全国大会に出場することです。そのためにはチーム一丸となって練習し必死で練習を積み重ねて、暑い夏もチームで乗り切り、最後は笑い・笑顔・涙です。それが大会に繋がると思っています。しかし、関東大会では毎年決勝戦で東京都に敗れて悔しい思いが残る年が多いですが、何とか東京都に勝たなければ全国大会出場はないと周りの方から言われ続けてきました。今練習でできることは、チームで東京に勝てるような練習をし、来年の関東大会では埼玉県代表という看板を背負って出場して必ず東京に勝てる大会にしていきたいと思っております。まずは、埼玉県チームとして関東代表になることです。遥か遠い全国制覇。最後に自分の夢は大きく、10年連続10回目の代表に選ばれる事、そして、全国制覇、スポーツでプロになることです。」

❀ 埼玉県障害者バレーボール協会 北田 恵二

「明けましておめでとうございます。埼玉選抜女子バレーボールコーチの北田です。私は、よくプロレスラーに間違われますが、本当は心優しい永遠の若大将です。我々女子バレーボールチームは『声出しとボール拾いなら全国一』と言われるほど、元気で礼儀正しいチームです。大会への遠征は毎回遠足のようなものです。そのため行くまでに疲れてしまい、本来の力を発揮できないこともシバシバです。そんなチームも今年は結成10年の節目を迎えます。そのため、今年の目標は、夢をもう一度、ズバリ全国大会出場です。バレーボール界でも『史上最強の下剋上』をお見せします、乞うご期待！」

❀ 埼玉県障害者サッカー協会 押田 和彦

「明けましておめでとうございます。昨年は様々な大会に参加していただき、誠にありがとうございました。それぞれの大会で練習の成果を発揮し選手の皆さんが一生懸命にボールを追いかける姿に感動すら覚えました。また年々技術力の向上にも目を見張るものがあります。今年、埼玉県障害者サッカー協会は大きな目標を2つ挙げたいと思っております。5月に行われる関東ブロック地区予選会を勝ち、山口県で行われる『全国障害者スポーツ大会おいでませ！山口大会』に出場すること。2年前の全国大会に出場した時に悔しい思いをしたため、今年はその時の屈辱を晴らしたいと思っております。2つ目はサッカー人口を増やしたいと考えています。サッカー教室や各大会でサッカーの楽しさを知ってもらい『楽しいサッカー』から『勝つサッカー』まで幅広く支援し、一人でも多くの人たちにサッカーの魅力を知ってもらいたいと思っております。様々な場面で皆様と一緒にサッカーを楽しみたいと思っております。今年も宜しくお祈りいたします。」

❀ 埼玉県障害者フライングディスク協会 田高 雄一

「埼玉県障害者フライングディスク協会はお陰様で昨年設立10周年を迎え、記念式典を行いました。これもひとえに埼玉県障害者スポーツ協会様をはじめとして障害者スポーツにご理解される方々の賜であったと感謝いたします。さて当協会は平成16年11月に開催された『第4回全国障害者スポーツ大会彩の国まごころ大会』を照準に、平成12年8月9日設立いたしました。その間、障害者のレクリエーションの普及、選手の育成、指導者の養成に邁進してまいりました。また、昨年10月に開催されました『全国障害者スポーツ大会ゆめ半島千葉大会』の競技役員として、当協会員3名が派遣されました。私も埼玉大会以来の全国大会の競技役員として参加させていただきました。競技運営面に視点を当てますと『競技役員マニュアル』は選手の視点、効率的な競技運営等の配慮が随所にあり、当協会の今後の大会運営にも大変参考になりました。さて、新年度を迎えるにあたり、今年の抱負としましては2月5日、6日の両日『障害者フライングディスク指導者養成講習会』を6年ぶりに開催することになりました。彩の国まごころ大会以降、障害者フライングディスクに関する普及についての裾野は広がりましたが、役員養成が当面の課題と位置付けての開催です。今後とも障害者のスポーツ・レクリエーションの普及、選手の育成、指導者の養成に尽力し、『いつでも、だれでも、どこでも』をモットーに、フライングディスクを楽しんでいきたいと存じます。」

❀ 水泳競技選手 石井 康子

「新年明けましておめでとうございます。昨年、スポーツ協会の皆さまには大変お世話になり、ありがとうございました。今年の抱負は『続ける・チャレンジする・感謝する』です。**続ける**：水泳を本格的に始めて7年。おかげさまで一昨年新潟大会に続いて昨年の千葉大会にも出場することができました。大きなプールで泳ぐことはとても気持ちが良く、もっともっと泳ぎたいという気持ちにさせてくれます。今年も泳ぎ続けます。**チャレンジする**：私は、アームヘルパーという浮き具をつけて泳いでいますが、今年はアームヘルパーを外して泳ぐことにチャレンジします。**感謝する**：水泳の指導をしてくださる先生、一緒に泳ぐ仲間、理解してくれる家族に感謝します。アームヘルパー無しでまた全国障害者スポーツ大会や色んな水泳大会に出場したいです。今年もどうぞよろしくお祈り致します。そして、スポーツ協会のますますのご発展をお祈りいたします。」

☆バスケットボール競技選手

塩生 まき

「私の新年の抱負は、レッドキングというバスケットクラブで先輩方みたいに徐々に上へ目指したいと思います。とくに私にとってライバルのチームは東京の『つばさ』っていうチームです。そのチームは、足も速くて動きも速いから、なかなか動きに間に合いません。でも、年をかさねるごとに、少しずつ点数の方も近づいていると思います。だから私も、東京の『つばさ』みたいに相手の動きをよく見てがんばりたいと思います。」

☆アーチェリー競技選手

常世 駿嗣

「僕は、小学4年生の時発病して右下肢機能障害になりました。その後、1年間の入院・抗がん剤による治療・3回の手術。これでもうつらい治療は終わったと思ったら、中2の時肺に転移が。なんで僕だけがこんなつらい思いをしなくちゃいけないんだと思ながらの入院生活が続きました。退院しても行きたくない学校に毎日ただ登校しているだけでつまらない毎日をおくっていました。そんな時、学校の先生にフライングディスクを勧められてやってみたら記録がどんどん伸びて、先生に『これなら全スポ狙えるぞ』と言われ、頑張っって練習して3回全スポに出場しました。そして、障害者交流センターにも通うようになり、いろいろなスポーツと出会う事が出来ました。障害があったって出来るスポーツはいっぱいあるんだって事を知りました。障害があるからいっぱいスポーツが出来るんだって思うようになり、いつの間にか足が悪くなってからイジケ気味だった自分がいなくなりました。今、僕はアーチェリーをしています。交流センターのスタッフの中島さんが『常ちゃんアーチェリーやってみない。パラリンピック競技だよ』と声をかけられて、それがアーチェリーを始めたきっかけです。時間のあるかぎり所沢リハのアーチェリー場にいます。ここは、パラリンピックに出場した選手の方々が沢山練習をしているところなのですごくよい刺激や埼玉障害者アーチェリー協会の福田会長、原口さんのご指導を受けながら練習しています。夢はパラリンピックに行くことです。今はまだ30m～50mを練習しているところですが、長距離を撃てるようにしたいと思っています。そして今年から沢山の試合に出てメンタル面を鍛え良い成績を出せるようにトレーニングを毎日するように努力して国際大会に向けて一歩一歩進んでいるところです。パラリンピックに行くには強い精神で絶対にあきらめない心でチャレンジしていきたいと思っています！！今はアーチェリーを楽しくやって続けて行きたいです。」

広州 2010 アジアパラ競技大会に参加して

《日本選手団

団長 大久保 春美》

「豪華絢爛な開閉会式、そこには、中国・広州の誇りと自信を感じました。41カ国から約2300人の選手が参加し、メダル獲得数で日本は中国に次いで2位でした。国をあげて選手強化に取り組んでいる中国、韓国、イランに食い込むことができましたが、単純に喜んでいられる状況ではありません。中国は北京パラリンピックの開催を機に強化体制が整備され、韓国も2009年秋に障害者のナショナルトレーニングセンターを開設し選手強化が進んでいます。さて、この大会が、日本選手にとって極めて有意義だったことは言うまでもありません。初めて国際的な総合大会に参加したという選手も多く、観客席を埋め尽くすほどの相手方中国の応援の中で競技を経験した選手も多く、精神面や選手村での生活や体調管理など様々な面での経験になりました。埼玉県出身選手は、体調を崩すことなくベテランから若手まで大活躍でした。2010ロンドンパラリンピックでの活躍が楽しみです。その前に、パラリンピック出場権を得るための戦いが始まっています。再び、埼玉から多くの選手を送り出し活躍してもらえるよう多くの皆様からのご支援を宜しくお願い致します。」

《陸上競技選手

高桑 早生》

「広州アジアパラ大会に陸上競技1000m・走幅跳で出場しました。結果は、1000m銀メダル・走幅跳第5位でした。今回は、自分の満足のいくような練習ができないまま大会に臨むことになってしまい、とにかく今自分にできることを精いっぱいやろうと考えるようにしました。そんな中で1000mで自己ベストを出しメダルまで取ることができたので、結果にはとても満足しています。今後の練習で、自分はさらに記録を伸ばせるかもしれないと思いました。走幅跳では、自己ベストとは程遠い結果になってしまいましたが、今後に生かせるとても良い勉強になりました。その日の自分の状態や、ピットのコンディションをしっかり考えて競技できるようにしていきたいです。アジア大会は、私にとって初めてだらけ日々でした。毎日が勉強でとても充実した時間を過ごすことができました。パラリンピックに負けないくらいの盛り上がりを見せた広州の競技場での試合は、私の中で大きな自信になり、何より良い経験になりました。この経験や今回学んだことを忘れずに、今後も一生懸命練習していきたいと思えます。」

《アーチェリー競技選手 南 浩一》

「12月12日から中国の広州で開催されましたアジアパラ競技大会にアーチェリー競技で参加してきました。出発前は尖閣諸島の問題などでとても不安だったのですが、いざ行ってみるとそんな心配は全くありませんでした。地元のボランティアをはじめ、競技役員や大会関係者の方々の厚いおもてなしを受け、大変に感激いたしました。移送の面でも百台以上のリフトバスが用意されており、その運転手さんがみなさん車椅子の操作を熟知されていたのには驚きました。また、空港から選手村まではほぼ直線の高速度道路がひかれていて、道の両側にはアジア大会を讃える様々なモニュメントが花で作られていたのも印象的でした。地元の方に伺ったのですが、広州ではアジア大会のためになんと3ヶ月間も大学を休校にしてボランティアにあててくれたそうです。その数は少なくとも2000人！なんと規模の大きさに圧倒されました。また、選手村も高級マンションのような建物で、各棟の一階フロアには2～3名のボランティアが昼夜問わずいてくれて、どんなに寒い日でもにっこり微笑んで『おかえりなさい』『いってらっしゃい』と声をかけながらエレベーターボタンを押してくれたり、ちょっと分かりにくい自動販売機からジュースを取り出してくれたり、もう本当に至れり尽くせりでした。その他、24時間いつでも利用可能な大食堂が完備され、クリーニングサービスもとても充実していたり、選手村の一角にはチャイナドレス姿の女性がおいしい中国茶を無料でふるまってくくださるコーナーまであり、心身ともにリラックスする事ができました。この大会はまさにパラリンピックレベルの運営がなされていました。さて、肝心の競技なのですが、僕と同じクラスの選手のエントリーが他国におらず日本人選手2名のみだったので、オープン競技でメダルマッチはしてくれるものの、当初の目的だったロンドンパラリンピックの出場権は得られない状況になってしまいました。僕自身メダルには届かなかったのですが、新ルールアーチェリー競技を巨大スクリーンの設置された素晴らしい会場で行えたので、とても貴重な体験をさせていただきました。また、天候は大陸のせいなのか17℃前後としのぎやすい日があったと思いきや、いきなり翌日から最高気温4℃、風速北風10mで体感気温は氷点下を下回るような日が続いたり、体温調節の難しい頸損の僕にはかなりハードなものでした。そんな中で女子コンパウンド部門に出場した永野美穂選手が、見事ロンドンパラリンピックの出場権を獲得することができました。この出場権獲得は、アーチェリーチーム16名の悲願だったので本当に嬉しかったです。最後になりましたが、朝早くから夜遅くまで日本選手団のためにご尽力いただきました役員の皆様、アーチェリーチームの監督、コーチ、選手、そして日本で支え続けてくれた家族に心から感謝の意を述べさせていただきます。本当に素晴らしい大会でした。ありがとうございました。」

彩の国ふれあいピックバレーボール大会（精神障害の部）



パワーズ埼玉が初制覇

平成22年度彩の国ふれあいピックバレーボール大会（精神障害の部）中央大会を11月27日（土）、埼玉県立武道館主道場において開催しました。

県域の部は東西南北予選から勝ち上がった8チームのトーナメント戦を行い、初戦から1点を争う試合が繰り返されました。昨年度優勝のジャンクション埼玉対パワーズ埼玉の決勝戦はセットカウント2-1でパワーズ埼玉が勝利し、念願の初優勝を掴みました。またさいたま市域の部はウィーズバレー部が2連覇を飾りました。

今大会で選考された選手で結成される埼玉県選抜チームは第11回全国障害者スポーツ大会関東ブロック地区予選会に出場し、全国大会出場を目指します。

<大会結果>

県域の部	優勝	パワーズ埼玉	準優勝	ジャンクション埼玉	第3位	WIN'S、強健美茶
さいたま市域の部	優勝	ウィーズバレー部	準優勝	萌木のかぜ		

彩の国ふれあいボッチャ大会

ひまわり会A（競技部門）、リハセンさくら（交流部門）初金メダル獲得

当協会が主催する平成22年度彩の国ふれあいボッチャ大会は12月4日（土）、埼玉県立武道館において開催しました。この競技は、冬季オリンピックで人気のカーリングに似た競技で脳性マヒのパラリンピックの正式競技。1チーム3人で白のジャックボール（目標球）に2チームに分かれカラーボール（赤色と青色の6球）を相手よりも近づけて争う競技。正式ルールで競技する競技部門に10チームまた誰でも一緒に楽しめるようルールを簡易にした交流部門には昨年を12チーム上回る24チームが参加、熱戦を繰り返しました。今大会から入賞したチームに初めてメダルを授与。メダル第1号を目指し会場は熱気に包まれました。交流部門で銀メダルを獲得した「ジブリ1号」のキャプテンは、「今日は最高の1日でした。連覇は逃したけど入賞できて満足です。来年こそは金メダルを狙います。」と喜びを語ってくれました。



<大会結果>

競技部門	優勝	ひまわり会A	準優勝	ひまわり会B	第3位	リハセンカサブランカ
交流部門	優勝	リハセンさくら	準優勝	ジブリ1号	第3位	リハセンGreen

彩の国ふれあいピックサッカー大会

春日部FC初優勝（フレンド） FC埼玉REDは2連覇（チャンピオン）



平成22年度彩の国ふれあいピックサッカー大会を12月5日、12日の両日、さいたま市荒川総合運動公園サッカー場において開催しました。11人制競技部門（チャンピオントーナメント）8人制交流部門（フレンドシップリーグ）にそれぞれ9チームの計18チームが参加、熱戦が繰り返されました。

大会第1日目のフレンドシップ予選リーグは、勝ち点が並び得失点差で決勝トーナメント進出が決まるなど拮抗したゲームが続出。決勝戦は、2年連続決勝に進出した春日部FCと大会初出場の上尾かしの木特別支援学校の間で行われ、P戦の結果春日部FCが初優勝を飾りました。第2日目は、ベスト4に進出したFC埼玉RED、チーム桜A、羽生ふじマックス、FCパラダイスの間で優勝が争われ、FC埼玉REDが見事に2連覇を飾りました。優勝したFC埼玉RED木藤幸平主将（20）は、『今日はいつもどおりの練習の成果を出すことができた。来年はもっと練習をしてさらに上のレベルを目指したい。』と決意を語ってくれました。

なお、この大会で選抜された埼玉県チーム・さいたま市チームは第11回全国障害者スポーツ大会関東ブロック地区予選会に出場し、全国大会出場を目指します。

<大会結果>

チャンピオン	優勝	FC埼玉RED	準優勝	FCパラダイス	第3位	チーム桜A
フレンド	優勝	春日部FC	準優勝	上尾かしの木特別支援学校	第3位	川口特別支援学校

各種教室

♪ソフトボール教室♪

全国大会への夢！新たに



当協会主催により第3回ソフトボール教室は、11月28日(日)さいたま市浦和球場で戸田中央総合病院女子ソフトボール部の指導により行われました。戸田チーム山崎泰稔新監督から「来シーズンは2部で試合をすることになりましたが1年で戻れるように頑張ります。今日の教室メニューは選手たちが考えてきましたので楽しみにしてください」と挨拶。続いて内田主将をはじめ全選手が自己紹介をし、教室が開始されました。

教室では、スローイング、キャッチボールの基本についてかなりの時間をかけ指導いただきました。続いて戸田チームと埼玉チームがそれぞれのポジションにつき山崎監督からノックを受け、埼玉の選手の投げたボールを戸田の一塁を守る内田選手や渡辺選手が捕球するという夢のようなコラボレーションが見られました。最後は試合形式で戸田チームが守り、埼玉チームがバッティング。埼玉チームの町田選手は、右中間をライナーで破

るホームランを打つなどご指導いただいた成果が随所に見られました。教室の最後は、両チームの来シーズンの健闘を誓い合い教室を終了しました。埼玉チームは、第11回全国障害者スポーツ大会関東ブロック地区予選会に出場し、全国大会出場を目指します。

♪上尾市手をつなぐ親の会♪

上尾市手をつなぐ親の会、青年学級のスポーツレクリエーション教室が11月28日(日)上尾市大谷公民館において開催され、ならびっこベースボールを実施しました。

ウォーミングアップの後、3チームに分かれてキャッチボール、打つ・守る練習を行い、試合(1イニング5人攻撃で攻守交代し2イニング)を行いました。

今回実施した「ならびっこベースボール」は野球のルールを簡易にした種目で、打者は止まっているゴムボールを手で打って塁を回ります。守備チームの整列が完了するまでに打者が踏んだ塁の数が得点になります。参加者からは「楽しかった」「普段体を動かすことが少ないので、たまには体を動かすのはいい」と感想をいただきました。



♪久喜市立太東中学校 総合的な学習の時間♪



久喜市立太東中学校「総合的な学習の時間(福祉)」が12月10日(金)同校体育館において実施され、一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会から水泳の石井康子選手、ボッチャの奈良淳平選手、吉川博史アシスタント、森裕輔アシスタント、スポーツ協会スタッフの計6名が講師として参加しました。

前半は障害者のスポーツ紹介、体験談、パラリンピックについての説明、後半はボッチャのデモンストレーションやクラス対抗試合の後、クラス代表チーム対奈良選手・石井選手・森アシスタントチームとの試合を行いました。

生徒たちは奈良選手のスーパープレイに大歓声をあげるなど楽しい雰囲気の中で進められました。最後に生徒代表の「チャレンジ精神を学んだ」などのあいさつがあり、閉講しました。

第10回全国障害者スポーツ大会ゆめ半島千葉大会 埼玉県選手団思い出の会

第10回全国障害者スポーツ大会ゆめ半島千葉大会埼玉県選手団思い出の会を12月25日(土)、浦和コミュニティセンターにおいて開催しました。全国大会で共にプレーした仲間たちが集まり、大会の思い出や近況を語り合ったり、千葉大会の思い出のビデオを見たり、プレゼント抽選会を行うなど楽しい時間を過ごしました。

12月25日はクリスマス。手作りのツリーを飾り、スポーツ協会スタッフはサンタの格好で会場を盛り上げました。また、昨年度に引き続き、スポーツ協会松本洋副会長がスポーツ協会応援歌の新曲「GO ALONG 前へ・・・」を演奏しました。



乾杯はジュースで



会場の様子



スポーツ協会応援歌 演奏

賛助会員・特別会員の皆様

○賛助会員（1月1日現在 団体会員71団体、個人会員125名）

（順不同、敬称略）

【団体会員】

青木信用金庫
曙ブレーキ工業株式会社
旭科学株式会社
生駒硝子株式会社
株式会社 ウチダオート
浦和ロイヤルパインズホテル
エーザイ株式会社
株式会社 央浦印刷社
金子物産株式会社
金本建設株式会社
川口信用金庫
関東自動車株式会社
共栄企画株式会社
クラブILO
株式会社 グリーン企画社
株式会社 サイゼリヤ 障害者雇用店長会
埼玉グラフ株式会社
社会福祉法人 埼玉県身体障害者福祉協会
埼玉県信用金庫
埼玉県知的障害児者生活サポート協会
社団法人 埼玉県手をつなぐ育成会
埼玉県発達障害福祉協会
さいたま商工会議所
財団法人 埼玉新聞社会福祉事業団

埼玉トヨペット株式会社
株式会社 埼玉りそな銀行
斎藤工業株式会社
株式会社 サイドー
サイボー株式会社
澤田ダイカスト工業株式会社
株式会社 島村工業
株式会社 昭和工業
シン建工業株式会社
株式会社 新研設備工業
株式会社 住田光学ガラス
株式会社 全日
株式会社 タイコー興業
太平ビル管理株式会社
株式会社 太陽商工
田中電気株式会社
株式会社 タナベ建設
積田冷熱工事株式会社
有限会社 ティエムエステート
デジコム株式会社
株式会社 テレビ埼玉
東京機器サービス株式会社
東彩ガス株式会社
東伸システム株式会社

株式会社 トーシンパートナーズ
永山建設株式会社
日酸 TANAKA 株式会社
日本信号株式会社
株式会社 パーパス
株式会社 ビックルスコーポレーション
北辰図書株式会社
前田印刷株式会社 筑波支店
前田食品株式会社
三国コカ・コーラボトリング株式会社
ミズノ株式会社 大宮営業所
ムサシノ機器株式会社
株式会社 武蔵野銀行
株式会社 メイコー・明高堂
株式会社 森島工務店
八千代工業株式会社
ヤマサキ治療室
山三電機株式会社
株式会社 ヨコハマタイヤジャパン
株式会社 ヨコハマタイヤセンター関東
株式会社 ランドガレージ
株式会社 リサイクルアシスト
株式会社 和幸製作所

【個人会員】

赤岩 真澄	秋山 桂子	荒川 祐美	市川寿美江	岩田 晃広	植松 幸子	宇津城美奈子	内海 頼子	大澤 充
大島 吉子	岡崎 典子	小川きよ江	荻原 藍	荻原 美和	片岡レイ子	門倉 清志	兼子 章	金子 寿男
兼山 淳一	壁下 明子	河田 秀子	北岩 晴子	北澤 浩一	楠奥 佳二	國谷 桂子	久保 弘美	熊木 慎也
黒沢 久志	小泉 博子	小林 友美	小林 嘉子	小松 文	小山 貞子	近 君江	斉藤 幸江	櫻井 明
櫻井麻友美	笹木 千春	沢野 孝夫	志賀美美子	穴戸 純	渋谷千鶴子	下野戸 司	鈴木 裕子	須田 澄子
関根日出乃	高岡 黄子	田口 範子	田中 佳乃	塚田 真澄	土井章一郎	戸井田幸子	栃金 聡	豊田 弘
豊田ますみ	永尾由美子	長沢 敏子	中西理絵子	長野 哲也	中野 幸江	中村マサ子	中村 亮太	野上 幸弘
野辺 美香	橋本千津子	蓮沼 祐二	花保喜代子	花輪 昭彦	林 裕美	春山 雅紀	半村 伸治	半田 保子
樋口真理子	福嶋 真斗	藤島 伸吾	船戸 浩二	古瀬 望月	堀口 哲	前田美知代	前原 香織	牧井 横溝
松崎 シズ	三木 千代	三村 泰博	宮前 太志		森 敏昭	山岸	湯本 恵子	藤子
吉野 淳一	渡辺 和	渡辺 祥子						

○特別会員（1月1日現在 県内60市町村）

順不同

川崎市	熊谷市	川口市	行田市	秩父市	所沢市	飯能市	加須市	本庄市	東松山市	春日部市	狭山市	羽生市	鴻巣市	深谷市
上尾市	草加市	蕨市	戸田市	入間市	鳩ヶ谷市	朝霞市	志木市	和光市	桶川市	北本市	八潮市	富士見市	三郷市	蓮田市
坂戸市	幸手市	鶴ヶ島市	日高市	吉川市	ふじみ野市	伊奈町	三芳町	毛呂山町	越生町	滑川町	嵐山町	小川町	ときがわ町	川島町
吉見町	鳩山町	横瀬町	皆野町	長瀨町	小鹿野町	東秩父村	美里町	神川町	上里町	寄居町	宮代町	白岡町	杉戸町	松伏町

賛助会員を募集しています！！

一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会は、皆様の会費によって運営されています。

障害者のスポーツ活動の普及・充実をはかるには多くの皆様のご理解とご協力が必要です。

ぜひとも、賛助会員として皆様のご支援をよろしくお願いします。

ご入会に関するご質問等は、お気軽に当協会までお問い合わせください。

■賛助会員（個人） 1口・・・1,000円

■賛助会員（団体） 1口・・・5,000円

■賛助会員費振込口座番号

振込先名義：一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会

①武蔵野銀行 大宮支店 普通口座 1047615

②郵便局 振替口座 00190-6-559638

お知らせ

彩の国ハート&スマイル

第3回四面卓球バレー大会開催

平成23年2月13日（日）、埼玉県立大学体育館において、彩の国ハート&スマイル第3回四面卓球バレー大会を開催します。

参加募集締め切りは、1月25日（火）消印有効です。埼玉生まれ埼玉育ちの四面卓球バレーを皆さんで楽しみましょう！！

応募に関する詳細は、当協会ホームページをご覧ください。

(<http://sainokuni-sasa.or.jp>)



埼玉県のマスコット
コバトリン